

【2017年度カリキュラム学生向け】

# FAQ

## 目次

1. 基本的な情報
2. カリキュラムについて
3. 言語科目について
4. 英語開講科目について【日本語基準国内学生】
5. 時間割・シラバスについて
6. 履修科目登録について
7. その他

# 1. 基本的な情報

---

学期について：セメスターとクォーターとは何ですか。

セメスターもクォーターも、授業期間を表します。

セメスターは1年を2つの学期に区切ったもので、春セメスター(春学期)と秋セメスター(秋学期)に分かれています。各セメスターは、さらに2つのクォーター(第1クォーターと第2クォーター)とセッションに分かれています。

---

単位とは何ですか。

単位は、講義の内容をしっかりと学習し、身につけたことを示してくれるものです。日本の大学設置基準に基づき、学修時間を数値で表したもので各科目の修得に必要な学習時間(予習・復習含む)をもとに決定されています。

皆さんは、卒業するための要件の一つとして124単位を修得する必要があります。124単位の内訳は、入学年度や学部、入学言語基準別に決められるカリキュラムによって細かいルールが定められているので、ガイドンスや学部履修ハンドブックで確認してください。

---

学部履修ハンドブックの見方がよくわかりません。

[最初のページをめくると「見出しの色」](#)があります。新入生の皆さんは「2017年度カリキュラム」に該当するため、「全学生共通」、「2017年度カリキュラム学生共通」、そして「2017年度カリキュラム(APS または APM)学生」を確認してください。

# 2. カリキュラムについて

---

学修分野を登録しないと卒業できませんか。

以下の通り、所属する学部によって異なります。(学修分野について)

## [【APS】](#)

APS学生の場合、学修分野を登録することが卒業要件の一つです。登録期間は、第2セメスターから第6セメスターの履修科目登録期間(A期間、B期間、修正1、修正2)です。

## [【APM】](#)

APM学生の場合、学修分野の登録は卒業要件ではありません。ただし登録を行い、自身が登録した学修分野に配置された科目から12単位以上修得した場合、学修分野の名称が学位記へ記載されます。登録は、第1セメスターから最終セメスターの履修科目登録期間(A期間、B期間、修正1、修正2)にできます。

---

学修分野を複数選択することはできますか。

できません。APSもAPMも登録できる学修分野は1つのみです。

なお、学修分野登録期間内であれば、何度でも変更可能です。

[【APSの登録期間】](#) 第2セメスターから第6セメスターの履修科目登録期間(A期間、B期間、修正1、修正2)

[【APMの登録期間】](#) 第1セメスターから最終セメスターの履修科目登録期間(A期間、B期間、修正1、修正2)

---

日本語基準の国際学生です。英語開講科目(反対言語)20単位は卒業するために必要ですか。

必要ありません。

英語開講科目(反対言語科目)20単位を卒業要件としているのは、日本語基準国内学生のみです。

ただし、日本の高校を卒業した日本国籍ではない学生の中には、国際学生ではなく国内学生として区分されている学生もいます。※国際学生＝「留学」ビザを持っている学生

キャンパスメイトでの確認方法は[コチラ](#)を確認してください。

### 3. 言語科目について

---

英語科目の A と B の違いは何ですか。

	英語科目:A	英語科目:B
スタンダードトラック	コミュニケーションの授業	文法を中心とした授業
アドバンストラック	ディスカッションやディベートの授業	

---

英語科目と英語開講科目(反対言語科目)の違いは何ですか。

英語科目は「英語を学ぶ授業」として、「英語初級A/B」から「英語上級2A/2B」まで授業があります。英語科目の履修開始レベルは、入学時のプレースメントテストの結果により決まります。

英語開講科目は、「英語で学ぶ授業」として先生が英語で授業を行う「共通教育科目」もしくは「専門教育科目」のことを指します。日本語基準国内学生は、卒業するためには英語開講科目を20単位以上修得しなければなりません。

---

AP 言語とは何ですか。

アジア太平洋言語のことを「[AP言語](#)」と呼んでいます。中国語、韓国語、スペイン語、マレー語・インドネシア語、タイ語、ベトナム語の6つの言語を学ぶことができます。どの言語もレベル I のクラスは、希望する学生が多いため、履修を希望する人は履修登録開始後すぐに登録するようにしましょう。

---

プレースメントテストの結果、英語初級レベル(英語基準の場合は日本語初級)から学ぶことになりました。この場合、AP言語科目を履修科目登録できますか。

できません。AP言語科目を履修するためには、日本語基準学生は「英語初級 A/B」、英語基準学生は「日本語初級 I / II / III」の単位を修得済み、もしくは履修免除であることが必要です。また、AP 言語の履修条件として、履修を希望する言語が「母語」でないことが定められています。履修を希望する AP 言語が母語の場合は、履修できません。詳細は、[ハンドブック76ページ](#)を確認してください。

---

プレースメントテストの結果を見るできません。

プレースメントテストの点数は公開しません。テストの結果、自分がどのクラスに入るのかを確認する場合は、下記URLを確認してください。

【英語科目】 <https://www.apu.ac.jp/academic/page/content0035.html/?c=17>

【日本語科目】 <https://en.apu.ac.jp/academic/page/content0038.html/?c=17>

---

AP 言語科目と必修言語科目(英語または日本語)を同時に履修することはできますか。

できます。しかし、言語科目の多くは4単位のため、他の科目と比べて授業回数が多くなります。そのため、必修言語科目と AP 言語科目の履修を両立させるためには、自己管理やタイムマネジメントが非常に大切です。

---

言語履修免除申請は、1セメスターからできますか。

可能です。例年のスケジュールでは、7月と翌年1月に言語履修免除申請の受付が始まります。詳しくは、[アカデミック・オフィスウェブサイト](#)にて確認してください。

---

英語科目の A と B は同時に履修するのですか？

各レベルのAとBの2科目(合計6単位)を修得してはじめて次のレベルの必修英語科目の履修が可能です。英語初級Aのみ合格(単位修得)し、英語初級Bが不合格の場合、次セメスターは英語初級Bのみが大学によって自動登録されます。英語AまたはBのどちらか一つのみを合格しても、次のレベルに進むことはありません。

【4は、日本語基準国内学生のみ該当】

## 4. 英語開講科目(反対言語科目)について

---

英語開講科目(反対言語科目)はいつから履修できますか。

日本語基準国内学生は、卒業要件の一つに「英語で開講される科目を20単位修得する」という要件があります。英語で開講される科目を受講できるのは、「英語中級 A と B」両科目の単位修得後、または両科目の履修免除後になります。

---

英語開講科目(反対言語科目)の授業を受けることが不安です。

初めての英語開講科目は、専門用語を使わない授業を履修してみましよう。または、自分の得意分野・興味関心のある分野など、すでに知識を持っている分野の科目を履修することも勧めます。シラバスに書かれている授業内容が理解できない科目の受講は大変かもしれません。まずは、ブリッジプログラムなどの授業を履修し、英語に慣れることから始めましよう。ほかにも、[言語自主学习センター\(SALC\)](#)や[ライティングセンター](#)を利用することもオススメです。詳細は、各ウェブサイトを確認してください。

---

ブリッジプログラムは、英語開講科目(反対言語科目)として認められますか。

英語開講科目として認められます。

〈ブリッジプログラムとは？〉

英語力強化を図りながら授業を行います。「英語準中級A・B」を修得した学生が、本格的な英語開講科目を履修するための第一段階としての科目として設定されています。「英語準中級A・B」修得後から「英語準上級A・B」を修得するまでのセメスターで履修科目登録が可能です。(日本語基準国内学生のみ履修可能)

---

両言語開講科目(E/J)は英語開講科目(反対言語科目)として認められますか。

認められません。

## 5. 時間割・シラバスについて

---

時間割をどのように作成したらよいか分かりません。

- ① 自分の卒業要件や単位修得状況を確認し、単位修得が必要な分野を確認してください。
- ② 時間割やシラバスで科目の情報を確認してください。
- ③ 自動登録科目(必修・言語科目)の時間割を確認してください。自動登録科目(必修・言語科目)がどの時限に設定されるかは学生ごとに異なります。自分の自動登録科目がどの時限に登録されているかは、Campus Terminal の「あなた宛の重要なお知らせ」に届く通知で確認できます。
- ④ 自動登録科目が登録されている時限以外で、自分で履修登録が必要な単位数と履修可能な科目をピックアップしてください。実際の履修科目登録では定員が埋まっている場合もあるので、様々なケースを想定して時間割を考えておくことを推奨します。
- ⑤ 履修科目登録日に履修科目登録を行ってください。

---

自動登録科目(必修・言語科目)の時間割は、いつ分かりますか。

自動登録科目(必修・言語科目)の時限は通常、履修科目登録開始日の数日前にお知らせします。Campus Terminal の「あなた宛ての重要なお知らせ」を随時確認してください。

---

時間割はどこで確認できますか。

[アカデミック・オフィスのウェブサイト](#)に掲載しています。みなさんは、2017年度カリキュラム学生用の時間割を選択してください。

---

シラバスはどこで確認できますか。

Campus Terminal または、[アカデミック・オフィスのウェブサイト](#)から確認してください。

---

科目名の後にあるJA、EBは何ですか。

科目名の後ろに付いているアルファベット2文字は、1文字目が開講言語(JまたはE)を、2文字目がクラスを表しています。

---

シラバスが出てこない科目があります。開講されないということなのでしょうか。

正しく科目名が入力されているか確認してください。(ナカグロ(・)が抜けているなど)  
また、公開中の時間割に掲載されていない科目の場合は、その Semester での開講はありません。

## 6. 履修科目登録について

---

Campusmate の使い方が分かりません。

[履修登録・学修分野申請マニュアル](#)を確認してください。Campusmate の使用には、APU の ID とパスワードが必要です。

---

履修科目登録の修正期間に授業を取り消した場合、その授業の評価は F(不合格)になりますか。  
取り消した科目に関しては、評価されないで F(不合格)になることはありません。

---

他学部の専門教育科目を受講した場合は、どのように集計されますか。  
「他学部科目」として集計され、卒業要件の124単位にも含まれます。

---

1 回生ですが、200番台の科目を履修することはできますか。  
できません。1回生は原則100番台の科目のみ履修科目登録ができます。ただし、言語科目は前提科目を修得済み(もしくは履修免除)であれば、履修することができます。各科目の配当回生は、時間割表またはカリキュラム図で確認してください。

---

卒業論文を書かずに卒業することはできますか。  
できます。卒業論文は卒業要件ではありません。

---

他学部の専門教育科目を履修することはできますか。  
3セメスターから履修できます。その場合、履修科目登録期間 B 期間から登録可能です。

---

各セメスターで登録しないといけない最低単位数はありますか？  
登録するべき最低単位数は定められていませんが、卒業には124単位以上必要です。各セメスターで登録できる 上限単位数が決まっているため、計画的な履修を心がけてください。また、奨学金を受給している人は、セメスターごとに修得すべき単位数があります。詳細は、スチューデント・オフィスへお問い合わせください。

---

セメスターごとに決められている上限単位分の科目を必ず登録しないといけないのですか？  
必ず上限単位分を登録しないといけない、ということはありません。ただし、登録した科目の単位がすべて修得できる保証はないため、卒業に必要な124単位を計画的に修得していくためにも毎セメスター、上限まで履修科目登録することを推奨します。

---

セメスター科目とクォーター科目の違いはなんですか。

セメスター科目	週に1回の授業を4か月間(セメスターの間)行い、単位修得を目指す
クォーター科目	週に2回の授業を2か月間(第1クォーターまたは第2クォーターの間)行って、単位修得を目指す

---

興味のある授業が自動登録科目と重なりました。自動登録科目のクラスを変更できますか？

自動登録科目(必修科目、言語科目)のクラスを変更することはできません。優先して履修してください。興味のある授業については、次のセメスター以降も開講される可能性があるため、そのタイミングで履修するようにしてください。

---

夏・冬セッションとは何ですか。

長期休暇が始まって最初の1週間(5日間)を使って行われる授業です。他の時期に開講される科目と同様に、合格評価となれば単位修得ができます。なお、夏・冬セッション科目の履修登録も A 期間、B 期間、修正1期間、修正2期間で行います。履修登録期間外の登録・取消は認められません。

---

クラスの定員はどのように確認できますか。

定員は公開していません。履修可能な空き人数は Campusmate の履修登録画面でのみ確認できます。履修科目登録期間中の履修登録画面に表示される「空き人数」を確認してください。

---

Off-campus Study Program に申し込みました。結果は履修登録期間後にしか分からないのですが、B 期間に上限である18単位を登録すると Off-campus Study Program に参加できないのでしょうか。

Off-campus Study Program の単位が上限単位数に含まれる・含まれないはプログラムによって異なります。学部履修ハンドブックのP164-168をご確認ください。各プログラムの詳細は、[Off-campus Study Program のウェブサイト](#)で確認しましょう。それでも不明な場合は、各プログラム担当へお問い合わせください。

---

履修登録B期間は、セメスター、1クォーター、2クォーター、セッションの4つの期間の分すべて登録するのですか。

履修科目登録 A 期間(在学生のみ)とB期間では、すべての科目に対して登録・取消ができます。ただし、修正期間1は、すでに授業が始まっているセメスター開講・第1クォーター開講の授業を登録することはできず、取消のみ可能です。修正期間2は、第2クォーター開講の科目は取消のみ、セッション科目は登録・取消ができます。詳細は、[学部履修ハンドブックのP125](#)を必ず確認してください。履修登録期間外の登録・取消は一切認められません。

---

修正期間1で取り消したい科目が出てきた場合、別の科目を登録することはできますか？

取消はできます。新しく登録できる科目は、第2クォーター科目またはセッション科目のみで、定員に空きがある場合にのみ登録ができます。履修科目登録期間にできる作業については、[学部履修ハンドブックのP125](#)を確認してください。

---

【APS 学生対象】

コア科目であるAPS入門と地域研究入門は卒業に必要な必修科目ですか？

必修科目ではありません。APS入門は、アジア太平洋学部に入学した学生が学ぶべき情報を集約した科目で、第1セメスター時に大学によって自動登録されます。地域研究入門は、アジア太平洋地域を理解するための基礎を学ぶ科目として開講されています。自動登録科目ではありませんが、履修することを推奨しています。

---

#### 【APS 学生対象】

学修分野として登録している観光学(HT)の科目を 30 単位修得しているはずですが、「HT 専門教育科目」の修得単位数を確認しても 28 単位のままです。

「学修分野専門教育科目」の必要単位数である 28 単位を超えて修得した場合、超過分は「APS 専門教育科目」に集計されます。詳しくは、[ハンドブック 50 ページ](#)を確認してください。

---

#### 【APM 学生対象】

数学と統計学以外の必修科目は、大学が登録するのですか？

その通りです。基礎数学および統計学は、1回生から履修できるAPM必修科目なので、低回生のうちに履修することを推奨しています。

---

#### 【APM 学生対象】

会計学 I、マーケティング入門、経済学入門の3科目は言語科目の開始レベルによって第1セメスターから登録できると書いてあるのですが、具体的なレベルを教えてください。

第1セメスターに登録できる上限単位は18単位です。18単位から大学によって登録される科目の単位数を除き、自身で履修できる単位数が残っていれば登録できます。履修し、単位を修得できた場合は、必修科目の単位として認められ、第2セメスター以降大学による自動登録は行われません。

---

#### 【APM 学生対象】

就職活動などの関係で、7セメスターに自動登録される「グローバルマネジメント(Capstone)」を履修することができない場合、取り消すことは可能ですか。

通常、APM必修科目は学生自身で取り消すことはできません。

ただし、「グローバルマネジメント(Capstone)」に限り、7セメスターの履修科目登録 A、B 期間、修正期間 1 までなら学生自身で取り消すことが可能です。その場合、8セメスターに再び大学が登録を行います。APM学生の必修科目のため、未修得の場合は卒業できません。取り消す際は、注意してください。

## 7. その他

---

受きたい授業がありません。

学部履修ハンドブックの[P80-81\(APS\)](#)、[P82-83\(APM\)](#)から興味のある授業を探してみましょう。次に、シラバスで授業内容を検索して、授業の特徴や成績評価(レポート or テスト)の仕方などを確認してください。低回生の時には、自分の興味に気づききっかけにもなる入門系の科目を学ぶこともお勧めです。

---

履修や学修について相談したいです。

次の3つを活用してください。詳細はウェブサイトを確認してください。

① [アカデミック・オフィス](#)

履修相談や学修計画の相談、卒業要件の確認などを随時受け付けています。

② [アカデミック・アドバイジング](#)

学問的・個人的な目的を見つけること、それを達成することをサポートしています。学生生活 や将来についての不安など、教員(アドバイザー)が悩みを聞いてくれます。

③ [オフィスアワーを使って教員へ相談](#)

履修中の講義やゼミ履修についての相談など、教員へ直接アポイントを取って相談することも可能です。

---

APUにはどんな先生がいますか。

APUのウェブサイトにある[教員紹介ページ](#)で、各先生の専門分野などを知ることができます。

---

数学が苦手です、授業についていけないか不安です。

基礎数学・ビジネス数学・上級数学・統計学の授業の内容や授業で出た課題について、日本語もしくは英語でサポートしてもらえる[AMC\(Analytics and Math Center\)](#)を活用してください。研修を受けた学部生のチューターから1対1の個別指導を受けることができます。

---

レポートの書き方が分かりません。

1回生時の自動登録科目に「スタディスキル・アカデミックライティング(SSAW)」があります。SSAWではレポートを書く際にポイントとなる“問題を自ら発見して解決していくという主体的・能動的・自己主導的な学び方”の前提となる学習技法を学びます。また、レポートを書く際に困った場合は、個別指導が受けられる「[ライティングセンター](#)」を活用してみましょう。

---

教材はどうしたらよいですか。

どのような教材が必要かは、購入する前にシラバスおよび初回の授業時に必ず確認してください。先生によっては、独自の資料や教材を配布する場合があります。

テキストが指定された場合は、COOPの店舗やオンラインショップ、ネット通販を利用してください。